

令和元年度事業報告について

事業実施総括

公益社団法人青森県連盟（以下「観光連盟」という。）では、旺盛な訪日外国人旅行（以下「インバウンド」という。）需要の取り込みや、本県観光を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、平成 29 年 8 月に策定した、「観光連盟イノベーションプラン」に基づき様々な取組を実施した。

具体には、ＪＲ東日本等とタイアップした観光キャンペーンの実施や、クルーズ船で訪れる旅行者向け旅行商品や富裕層向け旅行商品の創出、販売などに取り組んだ。

また、「あおもりグローバルラウンジ」において多言語での観光案内のほか、ICT や AI を活用したインバウンド向けのリアルタイムな情報発信、各自治体、観光事業者等との連携によるインバウンドの拡大に向けた観光資源等の磨き上げや、専門家の派遣による宿泊施設の魅力向上を図ったほか、県と連携し、教育旅行やコンベンションの誘致など、国内外からの幅広い誘客を目指した効果的なプロモーション等を実施するなど、本県観光産業の振興に資する事業を展開した。

青森県観光物産館管理運営事業においては、観光連盟が主催するイベントの見直しや、晩夏の中核的な誘客イベントとして「ドイツビアフェスト in アスパム」の開催、アスパムの魅力向上と滞在時間の拡大を図るため、青い森ホールでのスターシアター上映といったナイトコンテンツの充実を図った。

収益事業では、貸会議室やイベントスペース、月極め駐車場の増収に向けた営業活動等を行ったほか、新規会員の勧誘や、一層の経費削減により経営の効率化や収益拡大策を実施した。

しかしながら、令和元年 7 月の青森・台北線新規就航やクルーズ船の増加などの効果に加え、同年 12 月には「北海道・北東北の縄文遺跡群」のユネスコ推薦が正式に決定されるなどの好機を活かし、更なる観光振興への取り組みを加速しようとしていた矢先、令和元年 12 月に中国に端を発し、世界的に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の発生により、世界中で旅行自粛ムードが高まり、国内においても全都道府県を対象とした緊急事態宣言が発出されるなど、本県においても、観光分野を含む県経済に甚大な影響を与えている。

未だ、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しは見えないものの、終息後の来るべき反転攻勢に備え、観光需要の回復に向けた取り組みを進めていく。

〔公益目的事業〕

1 観光振興事業

（１）開発推進事業

① 観光開発推進事業（国補助事業）

ア 訪日外国人旅行者（主にアジア圏向け）周遊促進事業による旅行商品企画の創出

観光資源の発掘・磨き上げに合わせ、アジアに精通したアドバイザー等を通じ、本県の特徴を整理・分析しながら、他道県と差別化された旅行商品企画の創出に向けた取り組みを行った。

◆旅行商品企画創出件数 76 件

イ 訪日外国人旅行者（主に英語圏向け）旅行商品企画の創出

主に英語圏に豊富な知見を持つアドバイザーと連携し、本県を視察。

ターゲットとなる外国人観光客向けのコンテンツ内容を確認、ブラッシュアップを図るための指導を行なった。

また磨き上げたコンテンツを基に本県を周遊するツアーの造成や現地受入側体制整備強化等を行った。

◆コンテンツブラッシュアップ数 8 件

◆県内周遊高額旅行商品創出件数 7 件

◆現地受入側体制整備強化指導件数 5 箇所

ウ 県内観光コンテンツ発掘調査

県内観光資源の発掘及び磨き上げ作業を県・市町村等と連携して取り組み、観光コンテンツの充実を図るための調査を実施した。

② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行った。

◆訪問先 4 施設 ◆コンサルティング回数 10 回

③ 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

（東北観光推進機構事業への参画）

主に欧米豪をターゲットに、ナイトタイム・モーニングタイムエコノミーをテーマに県内の旅行会社と連携を図り、7つのコンテンツを造成し

た。

④ テーマ別観光資源魅力向上事業

（むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業）

県内観光資源のうち、特定のテーマ（クリスマス・りんご）について周遊する旅行商品を造成し、モニターツアーを実施したほか、冬季の県内周遊観光を促進するため「クリスマス」に関連する（クリスマスマーケット）情報発信を行った。

ア 「りんご」関連のモニターツアー

1) 令和元年11月（1泊2日） 仙台から35名

イ 「クリスマス」関連のモニターツアー

1) 令和元年12月（1泊2日） 仙台から35名

2) 令和元年12月（即日） 盛岡から40名

3) 令和元年12月（即日） 八戸から13名

4) 令和元年12月（即日） 十和田から16名

ウ 「クリスマスマーケット」の情報発信（11～12月実施）

◆ラジオ 1社 ◆新聞広告 2社 ◆テレビ 3社

⑤ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら、以下の各種事業を実施した。

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

教育旅行に係る取組について情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催した。

1) 令和元年5月30日（木）

2) 令和元年11月26日（火）

3) 令和2年3月（書面開催）

イ 教育旅行各種セミナー・シンポジウムへの参加

本県への教育旅行誘致促進のため、各種セミナー・シンポジウムへ参加し、教育旅行に関する情報提供を行った。

1) 「東北教育旅行誘致セミナー（東北観光推進機構）」（札幌市） 令和元年7月

2) 「東北教育旅行セミナー（東北観光推進機構）」（東京都） 令和元年7月

3) 「全国修学旅行研究大会（全国修学旅行研究協会）」（東京都） 令和元年7月

4) 「教育旅行シンポジウム（日本修学旅行協会）」（東京都）令和元年 8 月

ウ 教育旅行促進強化事業（県委託事業）

1) 首都圏対策

首都圏教育旅行エージェントキャラバンの開催

- ◆実施時期 令和元年 11 月 12 日(火)～11 月 13 日(水)
- ◆訪 問 先 東京都・横浜市・さいたま市の旅行会社 9 社、学校 2 校
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 6 名

2) 北海道対策

㊦道央地区教育旅行エージェント・学校キャラバンの開催

- ◆実施時期 令和元年 8 月 27 日(火)～8 月 30 日(金)
- ◆訪 問 先 札幌市・苫小牧市・旭川市の旅行エージェント 15 社
札幌市・旭川市教育委員会、学校 36 校 計 53 箇所
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 12 名

㊧道南地区教育旅行エージェント・学校キャラバンの開催

- ◆実施時期 令和元年 10 月 1 日(火)～10 月 2 日(水)
- ◆訪 問 先 函館市の旅行エージェント 5 社
函館市・北斗市教育委員会、学校 36 校 計 43 箇所
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 16 名

3) 教育旅行現地視察会及び商談会の開催

宮城県からの教育旅行誘致に向けて、旅行エージェント担当者による県内視察及び商談会を実施した。

- ◆実施時期 令和元年 12 月 17 日(火)～18 日(水)
- ◆視 察 先 平川市、弘前市、南部町、八戸市
- ◆参 加 者 宮城県内旅行会社 4 名
教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 12 名

4) あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配布

- ◆部 数 7,000 部

5) 教育旅行受入状況調査の実施

- ◆内 容 令和元年分県内宿泊施設に対する宿泊状況調査
- ◆対 象 県内ホテル、旅館等
- ◆期 間 平成 31 年 1 月～令和元年 12 月分

⑥ コンベンション誘致事業

本県へのコンベンション誘致のため、コンベンション開催費助成事業を実施するとともに、関係団体等への誘致活動を積極的に行った。

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

コンベンション誘致に係る取組について情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催した。

- 1) 令和元年 5 月 30 日(木)
- 2) 令和元年 11 月 26 日(火)

イ あおもり MICE 誘致活動事業（県補助事業）

1) コンベンション誘致に向けた大学・団体・県内施設等訪問

- ◆時 期 令和元年 6 月～令和 2 年 3 月
- ◆訪問地域 青森県内、東京都内等
- ◆訪問件数 県内大学・首都圏コンベンション主催者等 37 箇所
県内ホテル・施設等 11 箇所

2) 商談会・イベント出展等

㊦商談会への参加

近畿日本ツーリスト主催の商談会「第 8 回国内大交流コンベンション」へ参加し、本県のコンベンションに関する諸施策を説明し、ガイドブックを配布し PR を行った。

- ◆時 期 令和元年 7 月 11 日（東京都）
- ◆商談件数 8 件

㊦イベント出展

国際 M I C E エキスポ（I M E 2020）において、青森県へのコンベンション誘致活動を行った。

- ◆期 間：令和 2 年 2 月 26 日（水）（東京国際フォーラム）
- ◆商 談：8 団体

3) コンベンション誘致のための支援策（ユニークベニュー・特典等）の創出

コンベンション誘致を促進するため、本県でのコンベンション開催にあわせ特別な企画対応を行う会場、いわゆる「ユニークベニュー」やチームビルディングに適した特別体験を関係機関と共に創出した。

- ◆創出件数：ユニークベニュー 新規 1 件

チームビルディング 新規 1 件

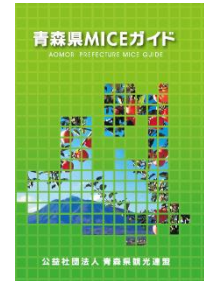
◆情報発信：アプティネット掲載や主催団体等への説明・配布

4) コンベンション誘致に向けたパンフレット製作

コンベンション誘致活動に活用するため、「青森県MICEガイド」を製作し配布した。また、アプティネットに掲載し情報発信した。

◆製作時期・部数：令和元年 6 月 500 部

◆配布先：大学訪問や首都圏商談企業等



ウ コンベンション開催費助成金

本県でのコンベンションの開催を促進するため、コンベンション主催者に対し、開催経費の一部を助成した。

◆件数：22 件 ◆金額：13,000 千円

◆県外からの延べ宿泊者数：約 11,237 人

(2) 情報発信事業

① 観光キャンペーン推進事業

JR東日本や(公社)日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、マスコットキャラクター「いくべえ」を活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成やリゾート列車の運行に係る協議会への参画等を通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

県内外の各種観光キャンペーンイベント等において本県観光のPRを行う「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」を任命した。

◆人数 3名

◆任期 平成31年4月1日～令和2年3月31日

イ 観光イベントガイドブックの作成

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、ホットな話題やイベント、観光施設等の情報を掲載した本県旅行の総合案内として「あおもり紀行」観光イベントガイドブックを作成し、関係箇所へ



の配布・PRを行った。

- 1) 夏・秋号 50 万部（青森県・函館観光キャンペーンガイドブックとして作成）
令和元年 5 月
- 2) 冬・春号 15 万部 令和元年 10 月
- 3) 配布場所 県内外の交通機関・旅行エージェント・観光事業者等

ウ 観光イベント等への参画

本県への誘客促進を図るため、県外で実施されるイベントに参加しマスコットキャラクター「いくべえ」を活用しながら観光PR等を行った。

1) 大宮鉄道ふれあいフェア

◆実施時期：令和元年 5 月 25 日

◆実施場所：JR 大宮総合車両センター

2) 「青森・函館産直市 in 千葉駅」観光PR

◆実施時期：令和元年 6 月 8 日～9 日

◆実施場所：JR 千葉駅

3) よこすか YY のりものフェスタ

◆実施時期：令和元年 6 月 8 日～9 日

◆実施場所：横須賀市ヴェルニー公園他

4) 「青森・函館産直市 in 大宮駅」観光PR

◆実施時期：令和元年 6 月 25 日～26 日

◆実施場所：JR 大宮駅

5) 「青森・函館産直市 in 浦和駅」観光PR

◆実施時期：令和元年 6 月 27 日～28 日

◆実施場所：JR 浦和駅

6) 「行くぜ東北！来いへえ青森!!」観光PR

◆実施時期：令和元年 6 月 29 日～30 日

◆実施場所：JR 立川駅

7) 青森・宮城物産展

◆実施時期：令和元年 7 月 20 日～21 日 ◆渋谷駅・東急東横店

8) 「ハイウェイフェスタとうほく 2019」

◆実施時期：令和元年 9 月 21 日～22 日 ◆仙台市勾当台公園

9) 東北・TOHOKU 再発見フェア

◆期 間 令和元年 11 月 23 日（土） ◆JR 仙台駅



エ 青森県観光セミナーの開催

首都圏からの誘客を強力に促進するため、
県と共同で旅行エージェント等を対象とした



観光セミナーを開催し、本県観光PRや商談会により、旅行エージェントにおける本県向け旅行商品の造成促進を図った。

◆時 期 令和元年10月8日（火）

◆開催場所 ホテルメトロポリタン

オ 商品造成対策

滞在型・周遊型旅行商品の造成を一層促進するため、市町村や関係機関と連携を図り、旅行エージェント等に対し本県の新しい観光素材や観光スポット、自然、食、温泉等の魅力を積極的に情報提供した。

◆時 期 令和元年6月、11月、令和2年2月

◆訪 問 先 首都圏旅行会社

◆内 容 青森県内の観光情報、新規情報等の提案

カ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

各協議会等に参画し、両沿線の活性化を図るための検討・取組を行った。

1) 五能線沿線連絡協議会

◆総会出席 4月15日

◆担当課長会議出席 6月18日、10月17日、3月（開催中止）

2) 陸奥湾沿線誘客宣伝協議会

◆総会出席 4月22日

◆担当者会議 3月（書面開催）

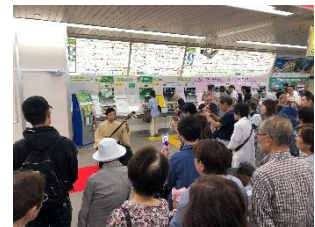
キ 航空路線活用対策

県内空港発着の航空路線が広がる中で、航空会社や青森空港振興会議等と連携を図りながら、チャーター便（春季）や新規就航路線等を利用して来県する観光客に対して歓迎イベント等を実施した。

② 青森県・函館誘客促進プロモーション事業（県委託事業）

ア 青函周遊商品販売促進キャラバン等の実施

青森県と北海道道南地域を巡る青函周遊旅行商品の販売による誘客を促進するため、観光関係団体や観光事業者等と連携して観光キャラバンを派遣し、PR活動を実施した。



1) 首都圏キャラバン①

◆時 期 令和元年6月3日～5日

◆場 所 JR大宮支社、大宮駅、横浜支社、横浜駅、八王子駅

J R八王子支社、びゅうトラベルサービス、錦糸町駅、津田沼駅

2) 札幌キャラバン

- ◆時期：令和元年6月7日
- ◆場所：J R北海道本社、札幌駅

3) 仙台キャラバン

- ◆時期：令和元年6月18日
- ◆場所：J R仙台支社、仙台駅

4) 首都圏キャラバン②

- ◆時期：令和元年6月18日
- ◆場所：J R北千住駅、柏駅、**J R**東京支社



イ 青森県・函館観光キャンペーン推進業務の実施

平成28年7月～9月に開催した「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」、平成29年7月～9月に開催した「青森県・函館観光キャンペーン」において提案された観光素材や体制のステップアップと定着を図るため、令和元年7月～9月にJ R東日本が行う重点販売地域指定によるキャンペーンと連動し、J R主要駅等における観光・物産イベントへの参画を通じたP R及び来訪歓迎を示すツール制作等及びインターネットでの情報発信を実施した。

1) J R主要駅内観光物産フェア等におけるP R

ア 青森・函館産直市 in 上野駅

J R東日本やグループ会社が首都圏を中心に実施する「あおり産直市」等と連携。キャンペーンオープニングイベントにおいて、本県の観光資源や青函周遊観光情報などをP Rした。

- ◆期間：令和元年5月23日～25日
- ◆場所：J R東日本上野駅
- ◆内容：観光P Rコーナーにおける観光パンフレット等の配布、観光P Rステージにおけるキャラクターによる観光P R、郷土芸能(津軽三味線生演奏)披露を実施



① オープニングセレモニーの実施

青森県・函館観光キャンペーンのスタートにあたり、オープニングセレモニーを開催した。

- ◆開催日時：令和元年7月6日(土)
- ◆開催場所：青森市 三内丸山遺跡センター



2) 宣伝広報・誘客対策

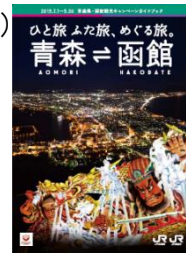
㊦ 青森県・函館観光キャンペーンガイドブックの作成（再掲）

全国からの誘客促進を図るため、各地の観光資源やキャンペーン期間中における取り組み・イベント等を掲載したガイドブックを作成した。

◆配布時期：令和元年5月31日から配布

◆配布場所：ＪＲ東日本を中心とした県内外の交通機関
旅行エージェント・観光事業者

◆作成部数：50万部



㊧ 青森県・函館観光キャンペーンポスターの作成

青森県及び北海道道南地域をアピールするため、キャンペーン期間に合わせてポスターを作成し、ＪＲ主要駅等において掲出した。

◆規格：B1サイズ カラー

◆時期：令和元年6月～9月

◆作成枚数：2,100枚

◆掲出場所：首都圏ＪＲ主要駅、青森県及び北海道
道南地域の観光拠点施設等 約1500箇所



㊨ インターネットでの情報発信

青森県観光情報サイト「アプティネット」に、キャンペーンに係る情報を発信するページを設置した。

◆設置期間：令和元年7月～9月

3) 受入対策

㊦ 青森県・函館観光キャンペーンのぼりの作成・掲出

キャンペーン期間中において青森県及び北海道道南地域の魅力を全国に発信し、両地域への更なる誘客促進を図ると共に、来訪歓迎並びにキャンペーンの開催を地元周知するため関係各所において掲出した。

◆規格：カラー

◆時期：令和元年6月～

◆枚数：1000枚

◆場所：青森県及び北海道道南地域の観光拠点施設
ほか約400箇所



㊧ 青森県・函館観光キャンペーン缶バッジの作成・配布

- ◆期 間 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
- ◆内 容
 - ・ 本県と関連のある著名人の発掘、リストアップ
 - ・ 様々なコネクションを利用した働きかけによるキーインフルエンサーの獲得
 - ・ キーインフルエンサー来県時の対応

(3) インバウンド対策事業

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された外国人観光客に対し、くつろいでいただきながら、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を運営した。

- ◆場 所 青森県観光物産館アスパム 2F 市町村ホール内
- ◆内 容

ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内（利用人数 10,882 名 うち海外 3,012 人）

イ 人工知能を活用したチャットボットによる多言語観光案内（アクセス件数 19,155 件 うち海外 8,616 件）

ウ SNS を活用した多言語による情報発信
 （インスタグラム投稿数 260 件 フォロワー数 7,530 人）
 （フェイスブック投稿数約 368 件 フォロワー数 11,977 人）
 （PIAZZA, C-TRIP 旅撮, We-Chat アカウント運用）

エ ラウンジにおける飲料提供

オ 多言語による観光 PR パネル展示

カ 県内周遊旅行商品の販売



② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催。

- ◆時 期 令和元年 5 月 30 日(木) (3 月:書面開催)

③ 韓国誘客対策強化事業（県委託事業）

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘致促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェント等と連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 韓国旅行エージェントファムツアーの実施

韓国からの観光客の誘致拡大を図るため、現地旅行エージェント等を招聘した。

1) 韓国ゴルフファムツアー

- ◆実施時期：令和元年9月6日（金）～8日（日）
- ◆訪問地域：青森市、鱒ヶ沢町、つがる市、弘前市
- ◆招 聘 者：旅行エージェント（ゴルフ関係）4名



2) 韓国ランド社ファムツアー

- ◆実施時期：令和元年12月13日（金）～15日（日）
- ◆訪問地域：弘前市、大鰐町、鱒ヶ沢町、つがる市、五所川原市、青森市、十和田市
- ◆招 聘 者：旅行エージェント（ランド社）4名



3) 韓国 MICE ファムツアー

- ◆実施時期：令和2年2月21日（金）～23日（日）
- ◆訪問地域：青森市、十和田市、五所川原市、弘前市、鱒ヶ沢町
- ◆招 聘 者：旅行エージェント（MICE 関係）5名



イ 広告支援金の交付

韓国からの観光客の誘客拡大を図るため、青森旅行商品の販売促進に係る経費の一部を助成した。

- 1) 支援商品：ゴルフ商品助成金 韓国旅行エージェント 1社
（青森・ソウル線を往復利用する韓国発の青森ゴルフ商品）
- 2) 支援商品：秋季青森旅行商品助成金 韓国旅行エージェント 5社
（青森・ソウル線を往復利用して韓国を出発する青森旅行商品）
- 3) 支援商品：11-2月青森旅行商品助成金 韓国旅行エージェント 5社
（青森・ソウル線を往復利用して韓国を出発する青森旅行商品）
- 4) 支援商品：3月青森旅行商品助成金 韓国旅行エージェント 5社
（青森・ソウル線を往復利用して韓国を出発する青森旅行商品）

ウ その他韓国からの誘致促進に効果的な業務

1) 韓国旅行エージェント等訪問

韓国旅行エージェントや韓国航空会社等を訪問し、本県の観光コンテンツのPRや青森旅行商品の造成・販売促進に向けた情報交換等を行った。

- ◆時 期：平成31年4月22日（月）～23日（火）、令和元年8月26日（月）
- ◆訪問数：延べ13社

2) 第6回日韓フォトコンテスト後援

在大韓民国日本国大使館公報文化院主催の第5回日韓フォトコンテストに後援として参加し、賞品等を提供した。

◆実施期間：令和元年7月24日（水）～10月15日（火）

◆授賞式：令和元年11月30日（土）



④ 北東北三県・北海道ソウル事務所事業（県委託事業）

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

◆設置場所 大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館7階

◆運営主体 北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会

◆構 成 員 北海道、青森県、岩手県、秋田県、（一社）北海道貿易物産振興会、（公社）青森県観光連盟、（公財）岩手県観光協会、（一社）秋田県観光連盟

イ 事業内容

1) ホームページ活用事業

4道県及びソウル事務所の認知度向上を図るため、事務所ウェブサイト等を通じて随時観光情報を更新するなどし、魅力的な情報発信とアクセス件数の拡大に努めた。

2) SNSによる情報発信機能強化事業

フェイスブック、インスタグラム等といったSNSを活用した情報発信が主流となっていることから、4道県の魅力ある観光資源の取材を行い、SNSへの投稿回数を増やすことで認知度向上や旅行促進を図った。

㊦韓国 SNS 等情報発信信用写真撮影 <1回目>

韓国における情報発信機能の強化を図るため、現地ブロガー等カメラマンを招請した。

◆撮影時期：令和元年10月6日（日）～9日（水）

◆撮影地域：三沢市、青森市、つがる市、鶴田町、
十和田市、黒石市、平川市、弘前市、

◆招 請 者：現地ブロガー兼カメラマン1名、ソウル事務所1名



㊦韓国 SNS 等情報発信信用写真撮影 <2回目>

韓国における情報発信機能の強化を図るため、現地ブロガー等カメラマンを招請した。

◆撮影時期：令和元年10月27日（日）～30日（水）

◆撮影地域：青森市、黒石市、平川市、弘前市

◆招 請 者：現地ブロッガー兼カメラマン1名、ソウル事務所1名

3) 旅行商品造成支援事業

4 道県を目的地とした旅行商品の造成促進を目的に、
観光商談会をソウル市内で開催した。

◆期 間：令和元年11月19日（火）

◆場 所：ソウル市 ロッテホテル

◆参加者：韓国旅行エージェント等87社 149名
県内自治体・事業者8団体 13名



4) 韓国における各種イベント出展等PR

韓国国内で行なわれる旅行博覧会やイベント等へ出展し、観光業界関係者や一般消費者に対してPRを行った。

㊦ Visit Japan 商談会

令和元年6月5日（水） ソウル市

㊧ ハナツアー旅行博覧会

令和元年6月7日（金）～9日（日） 高陽市

㊨ ソウルサケフェスティバル2019

令和元年7月6日（土）～7日（日） ソウル市

㊩ 韓国インセンティブマート 令和元年8月27日（火） ソウル市

㊪ 日韓交流まつり 令和元年9月1日（日） ソウル市



5) 観光パンフレット作成

エリアを絞った観光エリアマップを韓国国内で作成した。

◆内容：青森県のエリア（青森市・弘前市）に絞った
観光パンフレット等

◆規格：地図折り、24ページ、両面フルカラー、
40×60cm



⑤ 韓国現地商談会等事業（県委託事業）

韓国との経済交流を促進するため、北東北三県・北海道の共同事業として、韓国における商談会や韓国バイヤーの招聘等を実施し、バイヤー等に県産品等をPRすることにより、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図った。

ア 商談会参加

ソウル市において、北東北三県・北海道の韓国プロモーション事業として輸入商品展示会に出展し、韓国バイヤーに対して商談、県産品のPR等を行った。

◆実施時期：令和元年6月27日（木）～29日（土）

◆実施会場：ソウル市 COEX

◆出展業者：青森県の参加団体：計2社

イ バイヤー招聘業務

韓国から食品関連バイヤーを本県に招聘し、個別商談、産地見学等を行うことにより、県産品への理解を深めてもらい商機の拡大を図った。

◆実施時期：令和元年10月2日（水）～4日（金）＜1回目＞

令和2年2月12日（水）～14日（金）＜2回目＞

◆視察先：県内6箇所＜1回目＞

県内8箇所＜2回目＞

◆招聘者：韓国食品関係企業1社＜1回目＞

韓国食品関係企業2社＜2回目＞

ウ ビジネス開拓支援

拡大する日本食市場の新たなビジネスを開拓するため、北東北三県・北海道物産商談会に併せて、現地の消費者動向に関するセミナーを実施するとともに、視察・市場調査・起業訪問等を行い、県内企業の韓国ビジネス開拓の支援を行った。

⑥ 台湾人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

青森県へのチャーター便及び国際定期便、国内定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 広告支援金の交付

台湾からの観光客の誘客拡大を図るため、青森旅行商品の販売促進に係る経費の一部を助成した。

1) ◆支援商品：台湾発青森旅行商品

◆支援先：台湾旅行エージェント 7社

2) ◆支援商品：蟹田～脇野沢航路（むつ湾フェリー）利用の旅行商品

◆支援先：台湾旅行エージェント 2社

3) ◆支援商品：立体観光商品

◆支援先：台湾旅行エージェント 1社

イ 台湾における青森プロモーション

台湾からの誘客促進を図るため現地イベントへの参加やトップセールスにおいて観光PRを行った。

1) 観光イベント等

㊦ K T F 高雄国際旅行博（高雄市）

◆時 期：令和元年 5 月 24 日（金）～27 日（月）

㊧ 日本東北遊楽日 2019（東北感謝祭）（台北市）

◆時 期：令和元年 11 月 16 日（土）～17 日（日）



2) 知事トップセールス

㊦ 令和元年 7 月 21 日（日）～23 日（火）

㊧ 令和元年 12 月 11 日（水）～12 日（木）

3) 台湾旅行エージェント訪問セールス

台湾からの直行便が就航したことによる、台湾からの個人旅行者が増加することを受け、台湾エバー航空キーエージェント等を訪問し、本県の観光 PR セールスを行った。

◆時 期：令和元年 9 月 16 日（火）～17 日（水）（台湾旅行会社 8 社）

ウ 台湾からのチャーター便お出迎え・お見送り

台湾発から本県へのチャーター便を定期的なチャーター運航に繋げるため、青森空港発着のチャーター便を利用した台湾観光客のお出迎え・お見送りを実施。

◆実施回数：春チャーター便（4 月）4 回

◆実施場所：青森空港到着ロビー

◆実施内容：りんごジュース等プレゼント、観光パンフレット配布による歓迎



エ 台湾からの MICE の歓迎対応

◆時 期：平成 31 年 4 月～令和元年 11 月（4 団体）

⑦ 青森・台北線利用促進事業（県委託事業）

台湾大手旅行社のホームページにバナー・本県観光コンテンツ紹介ページを設置するなど、個人旅行者に対する情報発信を行った（台湾旅行社 7 社）。

(4) その他観光振興事業

① マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果を得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取り組み検討を行った。

◆DMO目標設定及び達成状況(※)

	目標設定(KPI)項目	単位	30年目標値	30年実績値
ア	旅行消費額	億円	1,886	1,902
イ	延べ宿泊者数	万人泊	477	505
ウ	来訪者満足度	%	100	99.6
エ	リピーター率	%	75.6	76.1

※達成状況に係る分析及び達成に向けた方向性を整理した情報については、令和2年1月に会員に配信

② 「もてなしの心」運動推進事業

本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図った。

ア クリーン大作戦の実施

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切にし、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部とともに「春のクリーン大作戦」を実施した。

◆時期 平成31年4月20日(土) ◆場所 県内各地

イ 観光ガイド推進連絡会議の発足

観光ガイド・観光ボランティアガイドに関する情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行い、観光ガイド業務のスキルアップ等改善を中心とした受入体制推進を図るための新体制を発足し、第1回連絡会議及びガイド研修を実施した。

1) 連絡会議：令和元年7月16日開催(令和2年3月：開催中止)

構成員：32団体

2) ガイド研修の開催

◆時期 令和元年10月31日・11月5日・9日・12日

◆場所 五所川原市内

◆参加者：89名

③ 観光案内所連携強化事業

ア 観光案内所連絡会議の開催

観光案内所連絡会議を開催し、観光案内業務に係る課題整理及び取組みの提案や意見交換会などを通じ、各参加団体相互の連携強化、情報共有を図った。

- ◆時 期 令和元年 6 月 20 日（木）
- ◆場 所 青森県観光物産館アスパム
- ◆参加者数 40 人

イ 観光案内所現地スタッフ研修会の実施

県内観光案内所スタッフのスキルアップや観光案内所間の情報交換及び共有を目的に、観光案内所スタッフによる視察研修及び意見交換会を実施し、更なる観光客受入体制の整備を図った。

- ◆時 期 令和元年 11 月 22 日（金）
- ◆視察場所 あおもり観光情報センター他 3 箇所
- ◆意見交換会実施場所 青森県観光物産館アスパム
- ◆参加者数：17 人

ウ 東北の観光案内所のネットワーク化事業への参画

東北の観光案内所のネットワーク化事業へ参画し、チャットワークや、東北各地で開催されている研修会、多言語パンフレットの作成等を通じて、東北の各観光案内所相互の情報共有及び連携強化を図った。

◆内 容

- 〈研修会〉 第 1 回研修会 令和元年 6 月 4 日 仙台市
- 第 2 回研修会 令和元年 7 月 11 日～12 日 釜石市
- 第 3 回研修会 令和元年 9 月 4 日 弘前市
- 第 4 回研修会 令和元年 11 月 29 日 東京都
- 〈多言語パンフレット作成〉 東北観光情報の多言語パンフレットを作成

④ 観光振興事業（県補助事業）

（公社）日本観光振興協会が全国的または重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出した。

⑤ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会に参加し、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備、誘客促進及び PR に努めた。

イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構の事業に参画し、広域観光の推進を図った。

ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し

県内市町村等にイルミネーション及びライトアップ機材の貸出しを行い、滞在型観光及び冬季観光の振興を図り誘客を促進した。

⑥ 観光事業者等に対する衛生対策等説明会運営事業

新型コロナウイルス感染症の県内観光施設や宿泊施設等に対し、衛生対策の情報提供及び国・県などによる事業者向け各種支援策を紹介するための説明会を開催し、併せて消毒剤の配布を行った。

◆日 時 令和2年3月16日（月）、17日（火）

◆開催場所 青森市、弘前市、八戸市、むつ市

◆参集範囲 観光・宿泊・交通事業者、観光案内所等

2 青森県観光物産館管理運営事業

青森県観光物産館アスパムが、県を代表する観光施設として、国内外の観光客に訪問、満足していただくため、施設・コンテンツ等のリニューアルを行った。青い森ホール「パノラマ映画」が新たな映像コンテンツを加え、四季の魅力を発信できるようになったほか、夜を楽しむコンテンツとして、青森の夜空をテーマとしたタイムラプス映像を上映する「アスパム・スター・シアター」の運営を開始した。また、主催イベントでは、青森のカフェやスイーツを集めた「アスパム彩り Café」や青森県の肉食文化を楽しむ「あおもり肉`（にぐ）フェス」、さらには、ドイツの公式醸造所のビールを中心に県内の地ビール等を集めた「ドイツビアフェスト in アスパム」を県内で初めて実施した。このほか、アスパム公式 Instagram の開設や、ホームページのリニューアルなど SNS 等を使った情報発信を行った。さらに、連盟運営店舗では、地域と連携した新たな地場産品開発、店舗での多言語による地場産品紹介や、中華圏向けスマートフォン決済など、新たな商品開発、来館者の満足度や利便性の向上に向けた取り組みを行った。

（1）観光資源紹介事業

① 青い森ホール「パノラマ映画」グランドオープン

3月15日にリニューアルした青い森ホール「パノラマ映画」に、冬及び春をテーマとした新たな映像コンテンツが追加され、予定していた四季の映像コンテンツが全て完成した。これを記念し、グランドオープン

記念セレモニー及びメディア内覧会を開催した。

◆映像コンテンツ

「Beautiful Season of Aomori Winter」

「Beautiful Season of Aomori Spring」

◆グランドオープン記念セレモニー

期間：令和元年 7 月 27 日（土）

場所：2F 青い森ホール

②アスパム・スター・シアターの運営

個人で来県される観光客向けの夜を楽しむコンテンツとして、青森在住のタイムラプス映像作家「aomori gonta」氏の協力により、青森県内で撮影したタイムラプス映像を 4 K で上映する「アスパム・スター・シアター」の運営を、青い森ホールにおいて開始した。

◆映像コンテンツ

「Time Lapse Aomori」（制作：aomori gonta 氏）

期間：令和元年 9 月 27 日（金）～ 毎週金・土

場所：2F 青い森ホール

③青い森ホールの多目的利用

「全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019IBARAKI」青森県予選での活用を始め、青い森ホールの多目的活用を推進した。

（ア）ウイニングイレブン試遊会 期間：平成 31 年 4 月 14 日（日）

（イ）「全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019IBARAKI」青森県予選

（ウイニングイレブン 2019） 期間：令和元年 6 月 9 日（日）

（ウ）高橋洋子サイン会 期間：令和元年 8 月 1 日（木）

（エ）King of Prism アニメ上映会 期間：9 月 1 日（日）

（オ）青森ワッツファンイベント 期間：11 月 30 日（土）

④季節ごとの館内装飾の実施

季節と館内イベントに沿った装飾、フォトスポットを設置した。



⑤ホームページや SNS を活用した情報発信

4 月にアスパム公式 Instagram を開設、7 月にホームページをリニュ

ーアルした。また Twitter や Facebook でも主催イベント等の情報を発信した。

【フォロワー数】

※3/31 時点

Instagram 2,637 人

Facebook 2,214 人

Twitter 4,260 人



ドイツビアフェスト

Instagram

HP 内 イベントページ

(2) 青森県地場セレクトの取組

①新商品開発アドバイス

蓬田村役場からの依頼により、地場セレクトスタッフが商品アドバイザーとしてトマト加工グループの商品開発に協力し、「味・コンセプト・パッケージ」などのアドバイスを行い新商品トマツタレが完成した。



②新元号フォトスポット設置&「新元号干支ねぶた」の開発販売

新元号をモチーフにしたフォトスポットを設置、県内外の観光客やインバウンド客にも人気となり、新聞にも取り上げられた。またフォトスポットには、地場セレクトが開発をアドバイスして完成した「新元号金魚ねぶた（弘前市津軽藩ねぶた村製作）」も合わせて PR を行った。

期間：平成 31 年 4 月 20 日（土）～令和元年 5 月 31 日（金）



③ジョブキッズあおもり職場体験受け入れ

青森県の物産を紹介するジョブアトラクションを実施、期間中各日4名の小学生を受け入れ、販売に関する仕事の体験を行った。

期間：令和元年7月20日（土）～24日（水）

④アニメ KING OF PRISM -Shiny Seven Stars-とのコラボ企画

人気アニメ作品 KING OF PRISM -Shiny Seven Stars-の登場人物の青森県出身のアイドルとアスパムとのコラボグッズや企画を実施。9月1日（日）にはリニューアルしたアスパム2階のパノラマ映画館での応援上映を行い、県内外からのファンが参加した。

期間：令和元年7月20日（土）～9月23日（月・祝）



（3）主な主催・共催イベント

①アスパム彩り café

青森県三大ソフトクリームをはじめ、青森県内のカフェやスイーツ店、キッチンカー出店の他、人気ハンドメイド作家によるワークショップ（製作体験）等を実施した。

また、弘前市内のふくろうカフェによるふくろうふれあいコーナーを設置し、お客様に写真撮影等を楽しんでいただいた。

- ◆期 間 令和元年5月2日（木・祝）～5月5日（日・祝）4日間
 ◆来場者 13,685人



②あおり肉`（にぐ）フェス 2019

青森県の肉食文化に注目し、「青森県ならではの」食文化等を紹介・商品を提供することで県内外からの誘客を図った。また「首都圏の人気飲食店」と「県産食肉」とコラボさせ、青森県民に「県産品」を誇りに感じてもらい、良い品物ということを再認識してもらう機会となった。

- ◆期 間 令和元年6月29日（土）・30日（日）2日間
 ◆来場者 19,120人



③ 2019 アスパム夏まつり

青森県の地場産品を一堂に集めた大物産展(46 業者出展)を開催し、夏祭りで本県を訪れる観光客に広く紹介した。人気アニメ主題歌歌手のサイン会の実施や、新規企画で子供らも楽しめるような雑貨・クラフト販売を行った。

- ◆期 間 令和元年8月1日（木）～7日（水）7日間
 ◆来場者 44,587人



④ ドイツビアフェスト in アスパム（新規）

ドイツの公式醸造所のビールを中心に県内の地ビール等を集めた『ドイツビアフェスト』を県内で初めて実施した。大規模な装飾やドイツ楽団によるライブの実施など、本場ドイツに限りなく近い演出により、お客様に非日常感を楽しんでいただいた。

◆期 間 令和元年 8 月 16 日（金）～25 日（日）10 日間

◆来場者 23,537 人



⑤ 2019 青森県市町村まつり in アスパムあおもりりんご大祭典

青森県産りんごやりんごを使った期間限定スイーツ・ジャンボアップルパイの他、青森県の市町村の物産販売とりんご娘ライブや青森りんごを使った料理教室を開催した。

◆期 間 令和元年 11 月 2 日（土）～4 日（月・祝）3 日間

◆来場者 10,544 人

⑥ CHRISTMAS MARKET in アスパム

本県と親和性の高い食材利用によるメニューの提供など「青森ならではの」のクリスマス提案、屋外ヒュッテの増設、会場装飾の充実、音楽イベントや併催企画の増加など、内容を昨年以上に強化したことで、冬季中核イベントの実現による誘客効果を通じた域外交流・本県経済の活性化を促した。また、本県を中心に活動しているアーティストやクラフト作家等と連携したイベントや、ゼクシィのプロデュースによる若いカップル向けイベントを新たに開催し、人気を博した。

◆期 間 令和元年 11 月 29 日（金）～12 月 25 日（水）27 日間

◆来場者 71,223 人



⑦ アスパムお正月イベント

各ショップの初売り・福袋企画や、新年の縁起物「門松」「鏡餅」の設置、お正月大抽選会などを行い集客に努めた。また子ども向けのミニ四駆コーナーや子年フォトスポット、津軽凧絵の絵付け体験、エネルギー館の新春イベントも家族連れに好評だった。

◆期 間 令和2年1月1日（水・祝）～5日（日）5日間

◆抽選回数 4,308回



⑧ アスパム冬まつり

テナント企画を中心に、来館者へのサービス向上を図った。また、中泊町と物産展を併催し、「たこのかまゆで」や「金多豆蔵人形劇一座」の公演を行った。子供らも楽しめるクラフトの出店者を集め、体験メニューも充実させた。

◆期 間 令和2年2月8日（土）～9日（日）

◆来場者 13,839人



⑨ 冬季集客イベントの誘致

冬季間の誘客対策として、県内各地でクラフトイベントを主催している団体と協力し、冬季間の集客に努めた。

○MUSUBI（主催：三ノ月舎）

◆期 間 令和2年1月25日（土）～26日（日）

◆来場者 11,445人

○冬のA-LINE（主催：A-LINE事務局）

◆期 間 令和2年2月22日（土）～23日（日・祝）

◆来場者 9,505人

(４) テナント事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、雇用支援の情報提供施設として、ハローワーク関連施設やジョブカフェ等が入居しているが、さらに 8 月に、中高年齢者の就職支援を行う「ネクストキャリアセンターあおもり」が 7 階に入居し、活動を開始した。

(５) 貸会議室事業

館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(６) PRホール運営事業（(公財)青森県市町村振興協会助成事業）

本県の観光と産業の振興を図るため、アスパム 1・2 階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介したほか、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力を PR する市町村ホール等を運営した。また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立美術館等との連携展を開催した。

〔収益事業〕

観光連盟の収益事業は、法人全体の収支を支えるものだが、財務状況の観点からも、収益改善が急務となっており「観光連盟イノベーション」を実現するためにも、収益事業のより一層の利用拡大・促進のため、イベントスペース等や貸会議室、駐車場等の営業活動を強化、館内テナントとの連携によるアスパム来訪者への購買意欲や満足度向上のための各種取り組みのほか、アスパム、観光連盟等の運営管理経費削減など、より一層の収益拡大と経営効率化を図った。

1 イベントスペース・貸会議室事業

収益の大きな柱となっているアスパム館内貸出事業について、あらゆるスペースを有効活用し、増収を図るため、営業活動を行った。

（１）イベントスペース

土日祝日以外の平日や閑散期の貸出増加に向け、利用者の新規開拓を行うほか、1階エントランスホール及び2階青い森ホール並びに13階展望台等の館内イベント可能スペースの認知度を向上させ、利用拡大を図った。

（２）貸会議室

WEB上からの予約申込や空室状況システムが定着しつつあるため、事務処理を含めた更なる高度化を図るとともに、会議室の利用率向上に向け利用の多い業種や新規職種への営業活動を積極的に行った。

2 テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）において、青森県の物産と食の魅力を提供した。

3 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの一般駐車場及び大型バス駐車場収入は、収益の大きな柱となっていることから、増収を図るため、利便性・優位性について積極的にPRするとともに近隣のホテル・企業等への駐車場の各種営業や、大型バスの営業についても積極的にPRした。

4 旅行業運営事業

あおりグローバルラウンジ及び旅行会社への販売委託で販売する商品として以下の商品を造成、販売した。今後、青森県内各所を周遊する旅行プランの造成を進めていき、県内観光振興に寄与していく。

◆タクシー周遊観光プラン(計 36 プラン)

- ・ 青森市内 3 時間 4 プラン (A B C D コース)
- ・ エバー航空就航対応商品 (4 コース)
- ・ 津軽の絶景スポット「立佞武多の館」「高山稲荷神社」「鶴の舞橋」を楽しむ旅
- ・ 青森の自然を満喫！乗馬体験プラン
- ・ ライトアップ中野もみじ山と黒石 百年料亭「料亭 富士見館」での夕食プラン
- ・ 津軽鉄道「ストーブ列車乗車体験」と津軽の地吹雪体験プラン
- ・ 浅虫温泉地吹雪体験とあったか温泉入浴プラン
- ・ タクシー送迎付きガイドが案内するスノーハイク体験 ほか

◆体験プラン（手配旅行含む・計 9 プラン）

- ・ 青森ねぶた祭 跳人衣装レンタル&着付けプラン（花笠有り/無し）
- ・ 青森ねぶた祭跳人体験プラン（花笠有り/無し）
- ・ 500 円で簡単跳人衣装体験
- ・ アスパム内でのねぶた花火大会鑑賞プラン
- ・ 雪だるま制作体験 IN アスパム ほか

令和元年度青森県観光物産館アスパム利用状況

単位:人・千円(税込)・%

区分	29年度	30年度	元年度	増減	対前年 比	対前々 年比	備考
				元年度－ 30年度	元年度/ 30年度	元年度/ 29年度	
総利用者数 (人)	1,029,672	1,192,028	1,277,409	85,381	107.2	124.1	テレビ番組やSNS等の様々な媒体でのイベント告知が県内外からの集客につながったことに加え、下半期は全国的に人気のクラフトイベントを数回開催したことで、例年利用者の少なかった冬期間に集客することができ、前年比増につながった。
有料 入館者数 (人)	49,430	52,740	65,521	12,781	124.2	132.6	各月前年比増で推移した。特に、クリスマスマーケットやドイツフェアフェストなど、他施設にはない特別感のある長期イベントの開催が、パノラマ映画や展望台の利用者増に寄与した。
観覧料収入 (千円)	21,455	21,625	29,364	7,739	135.8	136.9	パノラマ映画館を新規映像の「3Dシアター」にリニューアルし、幅広く利用者の獲得に努めた結果、増収につながった。 また、ワラッセ等観光施設との共通券の売上も好調で、9月は前年比3倍以上の伸びを示した。
物販・飲食店 総売上 ※直営店 含む (千円)	805,277	857,781	905,908	48,127	105.6	112.5	イベントとテナントとの連携企画を設け、イベント利用客が館内テナントで買い物できるクーポンを発行することで、イベントのみならず各テナントの増収につながった。
直営店 「青森県地場 セレクト」 売上 (千円)	45,141	43,997	53,642	9,645	121.9	118.8	「アマビエ」をモチーフにした「アマビエねぶた」を販売したところ、全国からお取り寄せが殺到し、2、3月の収入に大きく寄与した結果、対前年比を上回ることができた。
会議室収入 (千円)	46,463	46,774	43,676	△ 3,098	93.4	94.0	8月より7階たっぴの賃貸転用により前年から959千円、12月8階しらかみを主催イベントで使用し、223千円の減収となった。 新型コロナウイルスが原因によるキャンセルは2－3月で82室、1,659千円となっている。
駐車場収入 ※月極等 含む (千円)	48,306	53,273	55,506	2,233	104.2	114.9	一般駐車場は前年比98.3%とほぼ横ばい。大型バス駐車場は従来の団体バスに加えて商用トラックの利用が増加し、前年比134.4%。月極駐車場契約台数も年度開始時の76台から最終94台まで増加し、収入増に寄与した。近隣ホテル向け夜間駐車券の販売も好調。